



鎌ヶ谷市国際交流協会広報誌

第97号

2021年(令和3年)8月1日
 発行：鎌ヶ谷市国際交流協会
 〒273-0101 鎌ヶ谷市富岡 1-1-3
 きらり鎌ヶ谷市民会館
 TEL：070-8906-3350
 火・木・土 10：30～15：00
 e-mail：main@kifa.gr.jp

2021年度総会

昨年度同様 書面理事会を実施しました。その理事会の結果を、再度、理事全員に対する書面で通知した上で、総会を実施しました。

議案第1号(2020年度事業報告)、議案第2号(2020年度収支決算並びに特別会計収支決算及び監査報告)

議案第3号(2021年度事業計画)、議案第4号(2021年度収支予算並びに特別会計収支予算)

全ての議案について、理事メンバー14名全会一致で可決されました。

コロナ禍の中で

鎌ヶ谷市国際交流協会

会長 秋山 秀一



「4都県 五輪無観客」。7月9日の朝刊、一面トップに大きな見出し。千葉県内で行われるオリンピック競技は無観客で実施、ということに...

もう一年半以上、海外へ旅に出ていない。毎月のように取材の旅に出かけていた旅行作家としては、かなりつらい。コロナが収束するまで、まだまだ時間がかかりそうだ。海外への旅が再開した時、今までと同じようには歩けない、なんてことになったのではたまらない。せめて現状を維持したいと思い、それなりに日々トレーニングを続けている。

朝起きたら、まずは座禅、その後、体操、股関節運動にオリジナルの筋力強化運動、そして、30分程度の散歩。これは、日課のようなもの。

帰宅後、野菜を中心とした食事。新聞のチェック。

その後、特に外出予定がなければ、読書に、原稿執筆。

状況によって、本格的なまち歩き。鎌ヶ谷市内だけでなく、船橋、柏、松戸などのまち歩きを楽しむ。

「外国語研修講座」「英会話サロン」「世界を知る会」「交流バスツアー」「世界の家庭料理」「スマイリーキッズ・子ども英会話講座」「Progress English 講座」など、様々な活動を続けてきた鎌ヶ谷市国際交流協会(KIFA)は、今年設立33年目を迎えた。

このコロナ禍の、活動が制限されるなかでも、長年続けてきた様々な活動の輪をさらに広げようと、役員スタッフ一同、現在も頑張っている。コロナ後、様々な活動が再開されるようになったとき、市民の皆様のご期待に今まで以上に応えていくつもりである。

KIFA への問い合わせについて

郵便 ; 〒273-0101 鎌ヶ谷市富岡 1-1-3 きらり鎌ヶ谷市民会館

TEL.FAX : 047-442-1850 (かまがやワールドプラザ)

*Faxの方は月～金 9:00～16:00 に「KIFAへ」と書き送付お願いします。

KIFA 直通電話 : TEL : 070-8906-3350 火・木・土 10 : 30～15 : 00

e-mail : main@kifa.gr.jp

*日本語関係問い合わせは担当者 090-7237-5147 へ。

*KIFA 直通電話については、事業等の対応で、出られない場合があります。

留守電に名前、国名、電話番号、ご用件を必ずお入れください。折り返し連絡を差し上げます。

HP: <http://www.kifa.gr.jp/>



2021年 語学講座開講

スマイリーキッズ

昨年度はコロナ禍における封鎖期間などにより5、6年生のみの開講となりましたが、今年度は3年生以上の児童を対象とし、4クラス39名で実施。4か国4名の講師が担当しています。

安全確保の観点から授業の形態も変化しましたが、子どもたちは楽しく学んでいます。1年間のブランクがあった子どもたちも、回を重ねる度に英語を聞き取る力も戻ってきています。

コロナ禍前とは異なり、授業では席に座ったままでのゲーム対決やペアーワークなどが盛り込まれています。7名のボランティアスタッフが子どもたちをサポートしています。

補講を実施できないため、夏休みの宿題を出す予定です。



語学講座 講師紹介

英語 初級・中級クラス Derek 先生



長引くコロナ禍で、家に閉じこもる退屈な生活のほんの一時ですが、家を離れ授業ができる事に喜びを感じています。受講生の学ぶ意欲から元気をもらっています。

中国語 劉 先生



「中国で旅行する時会話ができるようになりたい」「日本語を教える時、中国語で説明したい」「中国人の友人と中国語で会話したい」という使命を持って、皆さん奮闘中です。変な癖のない基礎重視のクラスです。いくら勉強しても話せないなんてことはありませんか？書き読みより話すことにこそ力を入れるべきなのです。

KIFA 中国語講座に来て一緒に頭に入れたものはほとんどアウトプットしましょう。

韓国語 尹 先生



外の活動が難しい最近、おそらく語学を勉強するのにコロナ自粛は良い機会であると思います。家に滞在する時間が増えて韓国ドラマや映画を見ることになった、という話もしばしば聞きます。繰り返す緊急事態の中でも欠席する方もなく、会話の授業に積極的に参加して下さる韓国語の教室の生徒さんから私は多くのパーワをいただいております。皆さん、サランヘヨ！

日本語講座受講生の声

チャンさん (ベトナム)

日本に来て3年経ちました。KIFAの日本語講座に参加しているお陰で、いろいろな体験ができました。

元々は内向的だったのですが、講座に入ってから明るくなり、たくさん友達が出来ました。

講座にはアメリカ、イギリス、中国、韓国、フィリピンなど10か国位の受講生がいますが、共通言語は日本語です。言い表せない時は先生たちが架橋です。

先生たちは細かく指導して下さい、文法は元より、発音やイントネーションまでも直してくれるのでちょっと恥ずかしいですが、昨年12月、日本語能力試験N1に合格しました。本当に有難いです。

日本語だけではなく、日本の文化も学びました。書道とか夏祭りで浴衣の着方や盆踊りも教えてくれました。交流バスツアーにも参加し色々見学しました。

KIFA パーティや「外国文化に親しむサロン」での日本語スピーチを通して、いろいろな国の料理や文化を学びました。

特に印象深い思い出の一つに、KIFAのボランティア通訳として鎌ヶ谷市の避難訓練に参加した事があります。

モデルハウスの中で煙が出て、身体を低くしながら出口を探したのは、面白くて役に立ちました。

色々な経験を通じて、日本の生活が一層楽しくなりました。

最近、コロナウイルスで日本語講座に行けなくなって寂しく感じますが、コロナが落ち着いたらまた通います。



My hometown モンテゴベイ

Trisha



カリブ海に浮かぶ秋田県ほどの面積しかない小さな島国、ジャマイカ。リゾート地として知られる美しいビーチ、壮大な山脈ブルーマウンテン、手つかずの自然があり、レゲエの神様ボブ・マーリーや、陸上競技のウサイン・ボルトの出身国でもあります。

現在、中学校と高校で英語の先生をしている Trishaさんは KIFA の講師でもあります。ジャマイカの首都キングストンで生まれました。3歳の時キングストンから車で3時間の Montego Bay に移り住み、そこで過ごした学生生活などについて書いて頂きました。



Wah Gwan! 日本語で「こんにちは」の意味です。

美しくエキサイティングなジャマイカ
私の故郷モンテゴベイでの学校生活や経験等をお伝えします



トリーシャさんの家

ジャマイカでは、初等教育が6年間（6～12歳）、中等教育が5年間（13～17歳）です。

小学校へ入る前に多くの子どもは3,4才から幼稚園等に入ります。小学校は1クラス平均40人の子どもが在籍しています。高校は30人位ですが、私立の学校は公立高校より1クラスの人数が少ない傾向があります。

学校は9月に始まり、夏休みは6月の終わりか7月の初めから始まり8月の末まで2ヶ月以上あります。

夏休みが長いので私は様々な事をしました。小学校では学習の他、川へ行ったり、かくれんぼをしたりして友達と遊びました。年齢が上がると道路で友達とクリケットをしたり、泥棒と警察官になって逮捕するゲームをしたりしました。また段ボールを敷いてそれに乗り、石の丘を滑ったり、ローラースケートで自転車に乗るなど向こう見ずな遊びもしました。家へ帰るとテレビの前でジャンクフードを食べながら「ドラゴンボールZ」を見る事もありました。

また、小さい時から水泳クラブに入っていて、ジュニア大会では良い成績を残しました。高校ではコンピュータークラブの部長でしたが、他にもテニスや音楽クラブ、

チアリーダー等、色々なクラブに所属して充実した5年間を過ごしました。

中等教育（日本の高校にあたる）を卒業した後、進学の際は色々あります。

通常は College と呼ばれる pre University で学んだ後、受験し University に入学します。直接 University に行くこともできます。Jamaica の College によっては、大学と同様に全ての資格が取れる学校もあります。

College に行かずに仕事に就いた場合でも、何年か経ってから大学へ入る事もできます。私は、College に進学した後 University に入りました。College や大学では、本当に色々なものを吸収しました。コンピューター、ビジネス講義、スポーツ、ドラマ、教育希望者のクラブ等に所属した事や大学の寄宿舎の代表を務めていたことなど、全てが今の私、日本での教職に活かされています。



ジャマイカの記事を書き終えて

大学のセメスターで日本語を選択して勉強した時、「日本」に対してわくわくした気持ちが生まれました。そして、日本へ行って私の引き出しを増やそうと思いました。

今は涼しくて閑静な鎌ヶ谷市に住み、ALT をしている幸せを感じています。 Trisha

世界を知る会

共催：一般社団法人鎌ヶ谷青年会議所

「私が学んだSDG s」～いま私たちに出来ること～

国際協力・国際問題そして社会課題の解決に向けて

講演者 甲斐 義人さん



日時：令和3年9月26日（日）14時開会（13時30分開場）

場所：鎌ヶ谷市東部学習センター レインボーホール

（入場50名）オンライン配信

いま世界中で取り組んでいる「SDG s」（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）をテーマとし、**JCI.JAPAN グローバルユース国連大使事業**に参加した千葉県代表（鎌ヶ谷市在住の高校生）が自身の体験を通して得た知識や気づきを講演します。

*JCI.JAPAN グローバルユース国連大使事業とは

次代を担う若者を対象にSDG sに対する認識を深め、目標達成に向けて自発的に行動できる人材を育成することを目的に実施する公益社団法人日本青年会議所の事業です。

全国各地の青年会議所を通じて選考を通過した47都道府県代表の高校生が、オンライン事前研修、国内合宿研修、世界の学生と共に課題に取り組むオンラインサミットに参加しました。

オンライン研修の様子



Kamagaya to the world ～世界につながる From 鎌ヶ谷～

JET プログラム (Supported by KIFA)

鎌ヶ谷市在住・在勤の外国人（6カ国：日本、トリニダード・トバコ、メキシコ、韓国、ソマリア、カナダ）が自国の文化・慣習・食について紹介しました。

日本の紹介ビデオでは、3名のALTが日本の端午の節句を中学3年生までに習う英語で説明。梅檀板（せんだんの板）を使ったキーホルダー作りにも挑戦した様子などがビデオで紹介されました。

ビデオの英語を聞き取り（hearing）英文で読み（reading）、最後に問題にチャレン（challenge）！スマイリーキッズの受講生の中には中学生の問題に挑戦した児童もいました。

文化や慣習の違いだけでなく、長い歴史の中で他国の影響を受けて新たな文化、言葉、楽器などが生まれたことも盛り込まれた内容となっています。

参加者には、アメリカのキッズパスポート、国旗の鉛筆、多言語問診票などが贈られました。

編集後記

最近、SDG sという言葉をよく耳にします。新学習指導要領の改訂により「持続可能な社会の創り手の育成」が明記され、小中高校のさまざまな教科にSDG sが盛り込まれることとなりました。

スマイリーキッズの受講生は、英語の学習を通じて講師の文化や慣習に触れています。英語圏の講師でも国が違えば文化や慣習が違います。

KIFAが行う事業は、多文化共生だけでなくSDG sにも深く繋がっています。新型コロナウイルス感染症の収束、そして全ての事業を安心して実施できる日を願うばかりです。